
名探偵コナン

はやて

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名探偵コナン

【コード】

N0837Y

【作者名】

はやて

【あらすじ】

この物語は、とある高校である文化祭のために作られた劇です。劇の台詞しか書かれていないため描写は、書かれてないです。その所の所はご了承ください。

OP

ナレーション

「この物語の舞台は人気漫画の「名探偵コナン」主人公の江戸川コナンは、進一に帰ることが出来ずに10年がたった。偵探高校に通うコナンは、昔ある事件に関わった時に一人のオペラ歌手に歌を聞いてもらった時に「あなた…下手くそね」と言われたことがありコナンは歌が上手くなりたくてGLEEという部活に入った。もちろんげんた達も一緒に入っていますよ。さてさて…どんな物語が見れるのでしょうか？それでは…始めようか」

シーン1

〔教室〕

コナン

「俺は、この部活で絶対歌を上手に歌えるようになって見返してやる!!！」

歩美

「あーやっと見つけた!!みんな〜コナン君いたよ」

光彦

「先に行ってるなら教えて下さいよ…探したんですよ?」

コナン

「ああーわるい。忘れてた」

灰原

「薄情な人」

コナン

「だからわるかったって。それより練習しようぜ?」

歩美

「そうだね!大会も近いし」

光彦

「そうですね!そう言えば…今日は、蘭さんは来ないですか?」

歩美

「今回の大会には、OBとして蘭さんも出てくれるんでしょう?」

コナン

「あとで来るって言ってたけど？」

灰原

「小嶋君もいないけど？」

光彦

「元太君は、もう来ると思いますがけど」

元太

「わるいわるい…購買部のパン買ってたら送れちゃった。」

コナン

「またか？元太お前…GLEEは、何の部活か忘れたのか？」

元太

「肉体労働をする部活だろ？なァーお前らもそう思うだろう？」

生徒A

「いや…どうだろう」

生徒B

「俺らに聞かれても」

歩美

「違うよ！！歌ったり踊ったりする部活だよ！」

元太

「肉体労働じゃん！！」

灰原

「いいから…揃ったんなら始めましょう?」

コナン

「そうだな…始めるか!」

シーン2

〈教室〉

生徒A

「疲れた〜もうそろそろ休もうぜ？」

生徒B

「さすがに…私も疲れた」

生徒C

「私…もうくたくた」

歩美

「どつする？」

灰原

「休み無しでやってたから仕方ないんじゃない？」

コナン

「仕方ない…休憩するか」

光彦

「飲み物でも買いに行きませんか？」

生徒A、B、C

「『賛成』」

コナン

「そつだな。歩美達も行くか？」

歩美

「私には行かない。」

灰原

「なら私もいい」

コナン

「元太は…いないな」

光彦

「練習の途中から見てませんね」

コナン

「たく…行くこうぜ」

（自動販売機）

光彦

「ああー！？見てください！！」

コナン

「どうした？」

光彦

「飲み物が全部売り切れになっています！」

生徒A

「なんでだよ！！」

生徒B

「朝は全部あったのに」

生徒C

「嘘ー喉からからなんだけど」

コナン

「なぜ…朝にあったはずの飲み物が」

光彦

「ついてないです。」

生徒A

「やってらんねえ！戻ろっぜ」

生徒C

「はぁー喉渴いた」

生徒B

「同じく」

コナン

「朝に補充するはずの飲み物がたった数時間で無くなる物なのか？」

光彦

「どうしたんですかコナン君？戻りますよ」

コナン

「ん…ああ、わかった」

〈教室〉

灰原

「あら……どうかしたの？」

光彦

「聞いて下さいよ。飲み物が売り切れだったんですよ」

歩美

「全部売り切れだったの」

生徒B

「そつなんだよ」

生徒C

「ゼーんぶ売り切れ」

灰原

「それで推理オタクさんが難しい顔をしてるのね」

コナン

「ん……何か言ったか？」

灰原

「いえ……何も」

コナン

「なら……いいけど」

灰原

「はぁー」

シーン3

〈教室〉

元太

「みんな〜どうかしたのか？」

光彦

「元太君！何処に行ってたんですか？」

元太

「いや…ちょっとトイレに」

コナン

「ん…元太、お前えなんかさっきよりお腹回りが膨らんでないか？」

元太

「ん…そうか？少し飲み過ぎたかな？」

コナン

「やっぱり…犯人はお前えだ元太！！」

元太

「なんのことだよ？」

光彦

「そうですねコナン君？どついうことですか？」

コナン

「簡単だぜ…キーワードは、2つ！！1つ目は、元太のお腹だ！！」

何故運動したのに練習前より膨らんでいるんだ？何故ならそれは…
ジュースを飲んだから違うか？」

元太

「たしかに飲んだがそれがどうかしたのか？」

コナン

「まあ…さて最後の1つは、元太の話だ！！さっきお前はトイレに
いったと言っていた。しかも飲み過ぎたとどうだ違うか？」

元太

「だから…飲んだけどそれがどうかした？」

光彦

「自動販売機のジュースを全部飲んだんですか？」

元太

「喉が渴いたからな」

生徒A

「マジかよ！？お前のせいで俺らのが無くなったんだぞ」

元太

「えっ!？」

生徒B、C

「「そつよ!!」」

元太

「いや…俺はただ…喉が。光彦」

光彦

「今回は元太君がわるいです。」

歩美

「止めなよ！確かに元太君がわるいかもしれないけどこれはひどすぎるよ！！」

生徒A

「けど俺らは、喉が渴いたんだよ！！」

生徒B、C

「「そうよ！！」」

灰原

「…呆れた人達。なんとかしないの？」

コナン

「さつき蘭姉ちゃんに飲み物を頼んどいた。」

灰原

「なら止めるべきじゃないの？」

コナン

「いい薬になるだろう？お…来たみたいだ」

蘭

「お待たせ〜あれ？みんなどうしたの？」

光彦

「元太君が飲み物を全部飲んだんです!!」

歩美

「みんなが元太君をいじめるんだよ？」

蘭

「ふ〜ん…なんだかわからないけどジュースは買ってきたからけんかは止めない？」

生徒B

「蘭さんが言うなら…ねえ」

生徒C

「そうだね」

生徒A

「俺は…飲めればいいや」

元太

「ごめんよ…俺、自分のことしか考えてなかった」

光彦

「そうですよ…元太君食べ物になるところなんですから」

元太

「ごめん」

コナン

「もういいだろ…みんな？反省してることだし」

全員で適当に

「そうだな」みたいな感じのことを言う

蘭

「さあー仲直りしたことだし続きをやらなない？」

歩美

「次からは元太君も真面目にするよね？」

元太

「もちろん…真面目にやるよー！」

コナン

「さあー続きをやるっ…」

園子

「ガキンチョーそこにいるかー？」

コナン

「なんだよ…園子かよ」

園子

「なんか言った！ガキンチョー！！」

コナン

「べ…べつに」

園子

「よろしい」

蘭

「どっかしたの園子？」

園子

「いやね…来る途中で面白いやつ捕まえて来たんだ」

ピクミン（生徒）

「引っこ抜かれて来ました」

生徒A

「なんだ…あいつ？」

歩美

「知らないの？ピクミンだよ？」

生徒B

「いやいや…ピクミンって空想でしょう」

生徒C

「ゲームの住人でしょ？」

歩美

「いたのよ、きっと！だって目の前にいるじゃない？」

灰原

「くだらない」

コナン

「んで…園子さん。彼は？」

園子

「様と呼びなさい！！まあ…グラウンドに生えていたから抜いたら着いてきた」

ピクミン（生徒）

「抜いた人が主人だから」

元太

「抜いてきたって」

園子

「あら…なに？」

元太

「いえ何でもないです」

蘭

「ちょうどいいからあなたもやらない？」

光彦

「踊ったり歌ったりできるんですか？」

ピクミン（生徒）

「歌えます！！聞いて下さい」

全員

「おおー」

コナン

「いいぜ！大会に向けて頑張ろうぜ！！」

全員

「おー！！！！！！」

ED

コナン

「やっと…やっとここまでできた。ラストは俺が歌ったて終わる。成功すればもう歌が下手なんて言われぬ。絶対成功させるぜ!!」

ナレーション

「さあー続いては、ナンバー05番帝丹高校のGLEEです!!どんな歌と踊りを見せてくれるのでしょうか!!」

歌ったって踊る

ナレーション

「こうしてコナン達は、無事に演技を成功させることが出来ました。えっ?優勝したかって?さあーどうでしょう…それがわかるのは明日かも知れませんね?」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0837y/>

名探偵コナン

2011年10月31日06時03分発行